KODAK Color Control Patches © The Tiffen Company, 2000
Kodak LICENSED PRODUCT
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black
Centimetres

八 13
1.687
4

1685
4

たうさぐ
とう大ぐ大ぐ

四之巻

第一　さす脇よい鉄炮ぐまくに細るまてい寸法とてゆる

月弧

抱しゑ家まで漢とくれとゆいいなるゆん

寒ゆ作ぐても事も悪や清家の面名

笑ゆとて晩て番く問れとすゆ角く

才二

まもる女房を心と掛く様となる心深
親族の悔みを表義小人を命ずるくして
はけ身をわれもの手柄をあらわして今去はと
足が大まを待出さ備を委く仕の人

才三

先業でも出張せよると言せてよい物
無て出さ大まが紛れいさ白きのるるくと
世房がる別いふるみどり三考新乃出生
其後の為計略とい君いちどや家ごの後
合

一さす脇よい鉄砲かまへ組るもてい意とたて
之用を捨ど私用と考へずいか指下のろくあずといくぶ。ろ川
大脇い大厳のけ身はてかと面考、二分い岳ふぐ。ろいはと面変ふ
のこそきまって。う君の行付ろく出角の逆と。そこくはて。ろぎ下
厚考へ立戻ろ。宮てはまもてあるどと。ある小入てこれば。はろう
一人むつ色き新つきはて。ろ真の祈れ。そいくもろや型いとくも
しろ。家ろたれいきうれ中ろ高れいはろ色を面じてやけるい。
私ていれいろ面をトさるどと。ぬ。ろ中ん一和ある祈ろてやろれば。結
きよろとて大義の計略とあり合色とく方。今俄いいろ面と
祝ぐるくいろくて不ねあるど。ぬ。面と出さずやさるも。拾ふ中て
う名ろ光どといひそれば。某分不肖ろうといんた軍師工紙れ出角

にても軍わざ法度を不知て一時の傷負を恐てにげまどひ
さんと存る事ニ成別ていとまをあたへ給へ老僧人名林
冬そうぐ申ていにげ帰とてげらくるるとにぬれば其ぐ一人をとげ
うて形骨をくだくも其甲斐なく敗軍せて何ぞ軍中一人のおやうり
いてにぬいへ命のがれいとまをもきとどめ給へとひたすらに
ようねがひいるて抑ゐ大和尚法名(はるかさ)(はやく)老僧をとどめ
大和の軍師よ我むかの我ぶ命をかんて別ていのあるべきぶ命者で御きよ
てもやはり寺ぶ命をかんて別ていのあるべきぶ命者で御きよ
ぶどて後ぶ命をかんてもいかるべしとて抑ゐ我ぶ命者ハ雑兵ぶ命ハ
とかるべきぶ命ぶ命ぶ命法軍勢の司と成れば我ぶ命よりのぞんでハ天命
をきうすぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命
がひよ義志あるてハぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命

死力をたくさん事ハ命の豚の毒ハ和て死するぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命
友法ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命ぶ命

いゑたろう
まいるそれ
まごさい
とどや
うどう長まで
待ハいあり

おいとま
ナまを
きうだで
ごぜんを
どうぞ
く

笑山さまといえば、拙者きいつぶ出あうことを知そのとい、ぐすとそふて三度の仮
知恵せう俗を今いつまん。我さは種の品を押解ん、とそのこ三まりま
久しくはなれとうめひあるあり。幸て為の家成勉乳ヒつ寿末の為を
仇もとべきはなれ為者とそひ家中まかせ友のゆうあるを行人
ときひきあつむるにも。秘源保を金ろといで、はとして弓矢を戦しを
うじ報延に引ふてきくぶん年をこ為とめびしさいはいと故三奉仮
の拙仮友ゆといふ人あるは。そ家の婚男あれい庶子にあをつがうの
と為人ふこひ。菜とかくひ後報をおこさるといで。なく母で味方よ
きてぶものありくめんとゆ菜て。ふゆうに仕ふるの大種の者そ
いあはびきとゆふて。無仮世ひといふ大盗人の大ね。武義にて世し
力ふる人。よろ人。肝のふときまを。ひぶくぶれまても勉ぶね。大丈夫ある
者とゆ、しゆよ招きよ。ふゆ。ふてふ危絶仕世年信世ば

一度知りとあるこんとすいとふて為ゆ、ふ家中と始め結源
人ゆ行くきてぶひつまて。ふを自屋とのよりても家郷よい事ゆ。ふ
ふれしが知略ゆ云を屋。ふを屋ふをとよいふるとふの人よいいはるゆ世
友ゆふの世ふゆい指報して拝るふ屋ふ。屋ふゆとおゆてゆくふんと
ふゆふるふるゆ。ふ為ふふんゆふれふるふ。ふ万ゆのくふ仕友ん
るれびいよく報ひて。ゆ為ふてゆけをびふふ納ふきふ報ふて。ふ
ふ報の世計略ふ。ふゆふて。い世ふあと拝ふれふ。友ふとふ解のれふて
ハふゆふふ万世。きふ世。ふ為ニふの非義ふふ。ふ世ふ打揚ふてもふ世ふ。べけ
世ふゆふふふ。ふの神仏の面と為ふて。ふ為ふて。ふ為ふて継目の事ゆく
ていふの種のふ為ふ。ふて。ふ為てふふ実及ふ。ふ世ふ家のふふハ
さふとふれふ。ふ為ふと世ふふ為ふゆとふふ世ふれふ拝ふもふ
ふふふ友成ふふとふれふ刹。ふ為ふ。ふのびものと入て為ふ世ふ成

持て出る仆といふ世にいたりて鉄砲打く立後ろ立て元合を情の合ふ。
すぐく鼻面をてれ張月ふきひよりそ花を姫と長女ふ向つれ出家族
のこをと寿にて元とそんとのこを入れ則ち少女に姫君とう
つ人を出れ方の方のまい弟代の家を和徳ち射に陸分とう
出せこの口えいて。豆板さし京の面の左右とうにをうやまり。
京い方ゲにこ鉄もび仏の所縫員の手内ふた体ふれ出ハ
ちうとも家ゲひやさるく方。点つぶに入てん色ゲれ出ちうぐりを
ちりいやもう考会のもひもはぐうるゲくうのやされ。友次の出せ
の同るに京和の面はすこ面と。秋くた二安板さんゲれんこれも
計器いるるくもちやうまこ方にていいどとつ面に接ゲみ
ちくゲ上二仏のうこと方にいるうといべき。上い安ゲめさるく和京和
とおゲませ豆ゲんと次へ立ていぐくにかて豆さうけん鉄ゲして高ゲに

る前鉄ちてうう京とおゲ。ゲまいうの鉄ゲ人つれておゲ和ちにみとみき
京の面おうこれゲ。第ちう射く鉄の面をおせゲ出ちう面をそ
おいてできおこするゲ。二ゲ。大脇仕た二向ひゲ付し鉄炮といひゲれゲ。
四人の仕豆て鉄ゲ鉄ゲとうまくゲ出ちうを移ゲゲ大きにおゲうきゲこい
仏のゲ人鉄炮を四まくさらうやとゲうんうにてこゲられゲゲいやくこまゲ
うひやさるゲかゲ上京和ちてい仏の方鉄の国豆と抜てもゲ二豆ゲ。
ち方京内ゲとうちれて安板ゲちそゲるとゲ人元ゲ今にて色ゲ
こうゲ。焼ちにもゲおゲいくゲ方一鉄ゲするうにてゲちそちられてい
とゲこゲやゲ月ゲ月ゲうゲ。ゲまゲこゲひやさるゲゲ仏のゲ神仏を
てゲこうゲ和ゲ和ゲゲずゲといくゲゲ出ちう伴ゲ面をれてゲそとちそゲん
こうゲゲそゲ仏のゲゲゲ仏とゲくゲゲちゲゲず。ゲ今ゲ国ゲこうるひゲとゲにゲゲゲ
のうれゲゲいくゲけゲ入脇大きゲ化物ゲて仕た後炮ちゲゲてうゲて

とれとて家をとれば妻が泣くを打捨てうろうろして八腹の方へ行きさまを
かまへ腹と一まなを四人共に一所にいる内々れば大きな肝どつぢやし穴
ぐつ切てられる。扨いろわるいはなよかつれなして欲する知恵ちとぐが
そとるをさたせてるの長脇にはちりかくと折角ひとめしめもかろうまに
欲射するなとおもとみむおつさよさうどうに欲射とるい腹を
ちとまつぐ三代れ伝の主君をおて命を押取せんといたくしとぞ。
やいる藤ち分と伝者とちつ見まてを高子の妻後伝種の家
の無分まづ子のない四まいの妻次ぐ地。成人よちぐひ子のるきるを
ふんにちひ母よられば海ぐ又い伝種の婚る女方とや大名の婚
男にまれまぐ。墨絵つるまく妻後といやれ出へさんりれで海と
つれて伝方へも婚入せよと金子を多分ちわれた。紀へ嫁ていを方
絵子の婚月とつぐそ。伝種の婚男といふ大名の流先ちぐ出さに。

ぼ家とを立て書簡するの相談をやめて。母の婚いやけまぐいとて。婚
伝方の流れその無分として。次男に家をつぐて来。長会貴ずい
ふ西ちぐのれ母を伝種のつとち。我女方の流れにさんとちひ
こみ幼れの婚ち武義を婚る手。紀名術とんぐんち。
結ぶと武者流行して婚列とて伝男伝主中るへきとちぐ。長兵武
義に公力をつくせた。人とかてつべきも金紀ちていあぐて。妻と
分の反家ぐちれ武ちるとと。結婚ちるれど。俄ちふ別ちて。
そ武面ちといて。二ちるき者と人とてかてひとのれが法流人を
てちるといふちと長ひゆさ。さいふいて法人ものといふ母そ出人
も婚長ぐ婚ちの者た。伝と分ぐ計略とんておいちぐ前切を
獄門ふもちけるちるれた。兵人ちゆるとてくい。扨ちい出ひ入きてのち。
金いたをけるそちうん仕大小衣服とぬいでるく出を立者べーゆといで

はたは鉄炮ゑるさとは知をれべ。をくは高。氣ゑが鉄炮ゑか
をぬいぬ。ゑが大ふきゑ和もぬいで。ゑ下ゑ下ゑ下ゑ下ゑ知れど。
それがどのれは鉄ゑ。はは玉焼まで鉄炮ゑをれといひつけをべ。
ゑゑと鉄ゑ鉄ゑと海へ沢にゑつゑて大賠とゑゑ鉄ゑゑゑゑゑは。扱間の
扱ゑ上ゑ。鉄の鉄ゑものとゑ出。横ゑの羅ゑひゑれと。首お落ー
ゑ下ゑ下ゑ下ゑとのゑゑ。一味法ゑの家を拾ゑ。ゑゑゑゑゑの左別
と名ゑ。男ゑゑゑをゑゑゑゑゑ

宜くれぬ色ヤ上ん面命とやめて早く御系の月ぶ。そろそろ悔をつろ
いすと。文ヤ月は以上の面ろと迷ろれば。ぜ云ひ上ヤ色ひ。ひとおさん。
留五の舞とぜろて。ひざぐと。考云と指こされ。浮加ぬは上徳是
いなれた。世ろをやり伝形字きをれときぞ月は日ぞ二ぬぐろ的タ分
と月面二持ゆ人。ろれて大ゆを指上下を云いんぐんづきあひ
いや二ぬゆ人ぜ御系のろゆ人四せて二ぞろとされぬゆ上ぞろヤ
てろれろぶ。ぞ上我こそは俊を知ろてのをぬれ。美たよ
ないぞ月ろのこそひて若方すろ。親兄弟い人ろ四ぬきて家元の
巻とろこう存ろもろぞ。ろてきゆ上ぞ月ひるぶ。ぞいと分
ぞれしるぞれぶ。妻房ろゆ屋と四て。親兄弟と若ま月表の男を
ちんとヤさぶ。ぞつれて御ていれ。ぞろろゆ人ぶ婦のろ。ゆ人の
ムぐろい神ゆていぞそ。ぞ月にいふ月ぞ上ていろ上ぶ。

あ人の面婦考絡と私ろで色二不ろ知ろきろ元婦いぞで人ろいぞ二付
てふろ面二ゆろて。ろ分母ぶ分若方二仕ろぶ。ぞ賀方。御系の分色ときに
婦ろるぶ。ぶゆて婦ようい後と中ろてちされと御ぶてんよて。ぞろろヤ付ていぶ。
婦さん御ろてヤされるぶ。ぶいて色ろちる御ろ二御ぶしゃをいひろれぶろふ
月面のまと月稼写元の親のろて御ろて婦ろぶ。ぶろろ人ぶの世房二ろて
ゆていぶのろ。ゆ。ぶ。ぶ。ぶ

うるさくよばれてはいけないとて、ぼんやりとしてゐる。[illegible]
女房が泣わめくのを、[illegible]
きて泣いてゐるのを、[illegible]
男と[illegible]
[illegible]
[illegible]

余と脇るゞ巷の牙一ゆゞ者の[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]友[illegible]がをつぎ
めの[illegible]に上京する[illegible]ゆ[illegible]けば[illegible]そのもて
いさゝかどとのゆ[illegible]をやせべう[illegible]ば[illegible]る。[illegible]先ゆ分計器を
いて[illegible]れを盗出[illegible]上にて友[illegible]友を[illegible]ずべ[illegible]を合せ
[illegible]ゆ[illegible]べ[illegible]に害せ[illegible]もけ[illegible]
と[illegible]て民[illegible]わ[illegible]て行[illegible]仕る。友[illegible]友に[illegible]る[illegible]
[illegible]の係る[illegible]人目[illegible]房[illegible]を[illegible]
[illegible]る[illegible]男[illegible]の[illegible]とさ[illegible]人さ[illegible]
[illegible]て盛[illegible]
て[illegible]入[illegible]を盗[illegible]
[illegible]仕[illegible]
[illegible]

とゆてのうへ[illegible]面へ何[illegible]仕べ[illegible]と[illegible]行[illegible]れ[illegible]れ[illegible]
[illegible]ゆゞ[illegible]ゆ[illegible]ゞ[illegible]ゞ[illegible]ゞ[illegible]
[illegible]ゞ[illegible]ゞ[illegible]ゞ[illegible]ゞ[illegible]
友成の友[illegible]
いと[illegible]ば[illegible]の[illegible]
[illegible]
そ[illegible]ゞ[illegible]ゞ[illegible]
[illegible]人[illegible]
べ[illegible]
い[illegible]
[illegible]
[illegible]

が。それでうるさと反落して来れり。その我手みぐ法にあてい事れば迚
かと問へばうくうるとおけても来ういとまれ。おみなされ体也
おまへのは面のはこれ。あゆれの今いおゑとおれるされば栗殼のあまりれ私
るのとゆ反んぐとばるぐ井肥後くおゆ作はれ私と結こつりされ。人まなき
きぬ私と。ゑ石面にそはさび待あ申ひ。手拍このをてお待づついておゑへつれ
てござるおと。今一宿そは西の屋敷へ来るうはさをゆて。を狐い狐ぐふ
宿屋のうくよりぬけて。屋いち社の縁のトスハ森林のやはられ。かくゑを
ぐるそ。湖ひ里へまそおまへこおらず。も私まあうはゆとと。時くとかれ。で
うたくゑれまそくれそ。ぬ屋をきへ。ばやそ大さいはるゆ。ど先ら
青いゆるとくびれさへぐれどいぬ。来とたえるさふと。極二つ。来ゑ二つ。ぐび
狐の森のさのしゆうう二年の寿命ぬのびさふなものぐら

三 先生でもは後ぜようと高はいてよいねう

次第に先生に入て紹りを知るいひくゑ滝をのぐる羅まひくき。結尾川鶴た
つが人うの数富ぬまこナ双信仏社人さい女中の鞍ゑるとあまさのくぬ。ぐ法ゑを
成く結招ヤて。色とゆそ知人ぬ。雑はのゑ里に来のあるゆ。ゑを持ては招
宿。それとそ安きけらぬ。ぬ女つうを。一招ゑて答来仕ん。とぬ。ゑて私者
へは成実かようるそあぐ。ゑ。ゆ。ゆ。れ。ゑおむうひゑ。ぬ。ぐ。ゑ。ゑ入拍
今日雑はうの話拍。今日屋ゑ拍ゑよい来仕る。来ぬ。ゑれ。ゑいみ人ゑの女
どゆて。来法ゑ上ら。ど。ゑ。ゑ。ゑ

ちとまてまて
わけてくんせ
はきとが
えれや

ちろさ
ませね
みくいろの
まれこすると
さひらくい
うこぶこ

追ひ付け及ばざるを仕合ずに切捨と刀を抜
て斬かゝるを相手の方にもやはり上段に
ら切かゝる者とも せ手負ひ死人を見ときはやけ
きば雑ちの所とつゞ相手の仕様のといふ極の事 四ツ谷左衛門
勢ひ出での仕方もなきうるさくものの作法なる縄をうけて事に
られ出でを屋へ入こんとんその外捨てしば合へ捨てやうれば
とふつゞの長し所公の在長れかとと先ひ物をとうくと嘆きそに出居
せん仕ぶれいるを彩くの事をいて 先要と蹴をぬいろいて 内観ある
こを矢ぶるれ雑ちつおくるをつさ仕様ぶ出ぜ 基家系
家ちつめが二番ひとつて出機ぶんと捨ぜ ちとて安うを称ぶそれ家ちつ
出ぶ和あて捨べきぶと新当の刀に切づうあ 塚の内へ入おぶ
ぶりつけしするあつるれ出ぶ入くひうる四切にんぶ刀がもれくけるおり

がぶとねじと刀を抜て立上る要捨の出法者ぶ
おひうりぶ出の命ハ立ハ捨まする出地中ゆ出ちうぶ
入るくけるとけれいぶ立ハとも命とめさるぶと刀もそれぶ家ちが
命とかぶひおひかさあり彩テるを出ぶ雑ちうを出ぶ
ハ立てゆてあるべきぶのゆはきやつが命をかぶひぶにけるべきに
ていうくを出ぶ人るあて人ぶ出ぶうや深いあれたきのふる
をおかの家ぶ彩雑ちつが当刀ぶて出家ちが当とかぶふ捨いる
かく寝出にてもいと出ぶ系いぶかるとふ雑ちいよくなけ
ら捨あつぶのれそものぶれあじと出ぶて捨れば出捨とみぶ。
家ちつが命とかぶふ出あ命ふ出あの長にかふふいるほどと捨ぶれば
寝通ぶて系薬のふる刀と捨ても離けて長ぶに上に人ぶされ
る平安の当れ行ふふ人ぶき才一の非義出ぶて極ぶを引ぶ出ぶる

雅波の色所れ山吹とりやまにいでゝ友友蛍の四月上げくらして行ニぞうかま
よひるされるるまてれをうぼ絵人の四月にて立にるされ。
はなの絵にいこゝを行れ砂出をとれ行れおしいてゆ行とるされ出るの
今れとりるにぼく清ニつるいさるはゆ家ろ雑波へるるている
ごひニ秋紅屋ゆくゆ方とこのむ勇猛てそるこのゆ行てる友
友成れの方へれてつ臣るれるもよるいる面友友ゆれの四きゆんよるす
のことゆるてゆ世の人いるいと高すいるさるゆ乱つぼゆ人ゆ方のふ波を
かけを花とるいされ女とゆこの中魅ゆ月強るされ。花をもかいされるゆ
よいゆ君と高弱は仕るるゆ一ゆ出。ゆ方る人のるいいるゆんゆ世
てるのむ面をゆひゆてゆそらゆ人ゆとるゆひゆ人ゆてゆとり
みゆるるるいてゆ友成れ方へ抜ゆてなれとるのしゆ人ゆるゆ畏へいゆ。
新羅ゆあゆ仕抜ゆるれゆ。ゆ人の色名を世ゆて出るゆいゆ下の君義いる

みも姫はあひはゆ。悔むるゆるゆ人ゆ抜るほゆとゆ。ゆきゆときゆる人ゆと抜ての心頭
はるるるるゆを抜をゆゆゆるるゆとゆゆてゆるゆゆ君を高ゆいるされて。
君義といゆれるゆ地ゆをゆたゆいて涙ゆゆけゆ難ゆる人ゆをいゆ巳四ゆゆ月
のゆゆるけゆくゆと涙をゆゆゆ。ゆゆゆゆゆゆ君義ゆゆゆゆゆ月ゆ月ゆか
るゆゆゆゆ合ゆゆゆ一波ゆ我ゆ来ゆ抜仕澤ゆるゆいゆゆゆゆゆゆゆゆ
合長ゆれゆ姫ゆ抜れゆゆのゆゆゆ頭ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
いゆゆゆゆ抜ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
あゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

うけるいつの友成と肌と合ぜ友成とろうべーぬ系おぼえでんとの計略と拵屋いたそいれた。と氏それいた義のまにてられおてあいるずぞ感八今家勢と組しけおむへよ右おいろぐさいごぞ友成友方公の口令わ臣去よりて秋いえのいかとつ〻ぞ友成友二れ入怪るをつ臣毛ち仕ぞそ屋とうかびた屋とぬすき前ぞれ〻義わにて友成〻友へ敵対すう平右今物とぞみても友成といふ男を捕れ必方たいやけ二ろ山て鞘と拵てかる男あれば今ろに来いるのぐ臣ぞちを組切釣絶ちられちぐ臣と変ぞ友二釣絶ちられた。一系の関を切ることお抜さ右やさんるるの一つの計畧ぞ必ず成功ぞ者の与ぐ屋ぐ右ぞ友成ぞこのまるこそ言葉。臣女ぞ一れ自分のぐさみまるゆれば。ぞ方毛ぐいふ毛ち外の妻とそのぐさみまるすらい書せ日るの非義邪ぞのたわるとぞてぐひつきしまたいやいそとつ〻ぞ右ぞよりくに味方へ引んるあのぞれも計

策ぞ〻ぐ屋とおろうとのうへ半蔵よい人ちれど釣絶方へちのびゆうさ。我計略の神ひさといふのメ右ぞ。平毛ぞよび四へろけられねやにぞくとし旨いひ以メ右よ。そちぐろいて行ちのあいぐもあぐろ臣家ろ伝一て抜さ絶れて出てゆけと。今ぞ毛と右ぞ熊ちぐ。ぞの屋ぞ打ろうて打ろうけ毛べ。ぞ痛い拵ひ毛ぐいとて毛ちぞ美いまと十合せ口ぐとさられて〻臣いぞ。ぞの屋ぞ毛ろうぐひゃさんゆて右ろと。ぞ右毛ぐ抜角ぐひょんのうちとぞおいひぐ右ぐ臣ぐ〻ぐ〻ぐ〻